

(GMT+08:00) 2005-04-12 13:06:48

国連、地球保護を強化

cri

国連及びその関連機構はこのほど、一連の研究報告を発表し、人類の活動が環境と生態系システムに厳しい脅威をもたらしていると指摘し、行動を起こし、地球を守るよう各国に呼びかけています。

国連気候変化政府間専門家グループは 11 日ジュネーブで、「オゾン層と地球気候システムの保護」と題する報告を発表し、「十数年来、国際社会はオゾン層を破壊する物質の排出を減少させるため、その代わりに化学物質を使っていた。これらの化学物質の使用は温室ガスの排出を増やし、地球の温暖化プロセスを加速した」と指摘しています。この報告の予測によりますと、もし措置を取らない場合は、2015 年までに、これらの化学物質の排出は 2 倍から 3 倍まで増えるだろう。報告はまた、「国際社会が新しい措置をとって、2015 年までに、オゾン層を破壊する物質及びその代替りの化学物質の排出を半分減少させ、オゾン層を保護し、地球温暖化の趨勢を抑制すると主張しています。

今年 3 月末発表された三つの研究報告も環境や生態系問題にかかわっています。最初の報告は「ミレニアム生態系システムの評価」であり、国連の主催で 1300 人専門家が 95 カ国を視察した後起草したものです。報告では「人類や動植物が頼りにする生態系システムの 60% はひどく悪化し、或

いはもう利用できなくなった。地球の生物は巨大で逆転できない損失を蒙っている。10%から30%の哺乳動物、鳥類と両生動物は絶滅に瀕している。地球の水資源と漁業資源は人類の現在の需要をもう満たさなくなり、未来は更に言うまでもない。今後50年間、環境悪化がもたらす深刻な結果は更に激化させ、人類の生活に極めて厳しい影響をもたらすだろう」と警告しています。報告はまた、「政策とメカニズムを調整し、生態系システムの退化速度を緩めなければならない」と主張しています。

二つ目の報告はWHO・世界保健機関が提出したものです。その報告は、「淡水、空気、安定的な気候など生命を支える生態系の条件は大規模に悪化しつつあり、人類の健康にマイナスの影響をもたらしている。それにこの影響は今後50年間ますます顕著になるだろう」と指摘し、「生態系システムの破壊はコレラ、マラリアなどの伝染病を更に蔓延させ、新型の伝染病の拡散を招くだろう。地球の生態系システムの悪化により、国連のミレニアム発展目標の実現は難しくなるだろう。国際社会は生態系システムの破壊を予防、制約しなければならない」としています。

三つ目は「気候、水と持続可能な発展」と題する報告で、世界気象組織から発表されたものです。この報告は、「現在大気中の二酸化炭素の含有量は産業革命の前より33%増えた。地球温暖化の結果、氷河と極地の氷原は解けている。海面が毎年2ミリメートル上昇している。北半球の一部地域の降水量は10%増え、例えばヨーロッパで頻繁に発生した洪水、それと同時に、アフリカとアジアでは旱魃が目立っている。気候の原因で招いた災害の数は30年来3倍増えた。1992年から2001年までの10年間、被災人口は20億に達している」としています。

人類には一つの地球しかありません。国連のアナン事務総長は、「自然資源を重視しさえすれば、美しい未来を建設できる。日増しに悪化している環境を改善しないと、これから高い対価を払わなければならないだろう」と述べ、協力と交流を強化し、共に地球を保護し、環境保護に努力していくよう各国政府と科学研究者に呼びかけました。